

島挙げてカジマヤー祝う

伊江島の村の教育に尽力 中原さん



カジマヤー祝いでお礼を述べる中原美代さん(右) 15日、伊江村東江前の「ひやく笑や」

【伊江】戦前、戦後を通して伊江村内の小学校で教壇に立ち、退職後も島の教育のために尽力した中原美代さん(97)のカジマヤー(伊江島方言でカジマヤー)祝いが15日、伊江村東江前のレストランで開かれた。教えず子や保護者ら約70人が出席し、島を挙げて長寿を

祝った。

中原さんは「物知りおばー」として村民から慕われている。「祝いに集まっていたいただきありがとう」とイージマグチ(伊江島方言)であいさつすると、会場から大きな拍手が送られた。中原さんは1980年まで小学校教諭を務め、

60年代ごろから風疹児学級を受け持った。初めて経験する中、母親たちと共に指導し、児童の成長を見守った。

退職後は、村の社会教育指導員として島の民話や子守歌の保存、古謡「アヤメ歌」の復活や伊江島方言辞典への協力的など、島の民俗、文化の継承に尽力した。

祝いでは東江前区の二才踊りや民話「名医クワタ」の紙芝居などが披露され、中原さん自らわらべ歌を披露。当時の教えず子や保護者と対面し、互いに感激し合っていた。

祝う会世話人の知念正行さんは「いつまでも私たちの目標として元気に過ごしていただき、100歳の祝いも盛大に祝おう」とあいさつした。

中原さんは村人材育成会と社会福祉協議会にそれぞれ10万円を贈った。(金城幸人通信員)

(2012年 9月27日 32面)

☆学校の先生だった中原さんは、退職後さまざまな活動をしてきました。具体的に挙げてみよう。

☆長生きするため秘訣(ひけつ)は何だろう? 意見を出し合ってみよう。

年 組 名前